

# すまいる

<第32号>

発行所：山形県訪問看護ステーション連絡協議会

事務局：広報部

発行：平成24年4月28日

～在宅訪問栄養指導をご存知ですか??～

在宅でも栄養士からの食事指導が受けられる(^\_^\*)

訪問看護ステーション小白川とゆにしあ栄養支援室との

利用者家族への共同支援のご紹介します。

訪問 NS  
より

病院では、NST(栄養サポートチーム)が、血液データ、全身状態、皮膚状態、便の形状、嚥下機能などを多職種でサポートできていたところですが、在宅では訪問看護師だけの家族指導という現状がありました。自己研鑽し栄養学の知識を深めるには限界があり、家庭の医学を脱しきれないところでした。

ゆにしあの活動はさすが、プロです。「栄養経過記録」報告書が届き、とても詳細な内容に驚きました。在宅で、利用者様の食の満足度が高められる事に、期待しています。皆様の事業所でも、栄養の困った?!を相談されてみてはいかがでしょうか?共同支援内容を一部ご紹介します。

Kさん

病名：脳梗塞

相談内容：嚥下が出来ず、トロミをつけた食事が苦手。ミキサー食が嫌い。嗜好がはっきりしており、おいしく食事を作ってあげたい。

支援内容：本人の好みを取り入れた介護食調理の工夫をアドバイス（例・鮭フレークにトロミをつけて口の中で、分解しないようにする。食材の味付けを濃くするのではなく、あんかけにし、あんの味を濃くする。など）

ご家族様の感想：嚥下機能の状態を評価しながら食事の形状のアドバイスをしてくれた。

Eさん

病名：末期腎不全

相談内容：積極的な治療はしないが、出来るだけ食事で腎不全の状態を悪化させないようにしたい。治療食の作り方や、計算方法などを知りたい。

支援内容：レトルト食品を利用しながら出来るバランスの取れた食事のアドバイス。でんぶん米でお粥がうまく作れなかったので、調理方法をアドバイス。

ご家族様の感想：厳密にしなくては!と思っていたが、食事内容など評価した上での、食事指導。おいしく、そして家族の負担にもならないように栄養面のアドバイスをしてくれた。

